

各種サウンディング技術の液状化調査手法としての適用性に関する研究委員会WG2

平成25年度 第1回ワーキング議事録

日 時	平成25年 8月2日 (金) 15:00~17:00			場 所	地盤工学会 3F小会議室			
WG2リーダー	末政 直晃	○	WG2幹事	田中 剛	○	WG2委員	尾上 篤生	○
WG2委員	金 哲鎬	○	WG2委員	久世 直哉	○	WG2委員	菅野 安男	○
WG2委員	西岡 佑介	○	WG2委員	水谷 羊介	×			

○：出席 ◎：代理出席 ×：欠席

【議事内容】

1, サウンディング委員会より提案された平成 25 年度の方針 (案) を基に議論を行った. (資料 W2-1-1)

- ・音を利用した土質分類については, 技術が確立されていない事から, 現状では難しい.
- ・簡易サンプリングの方法によっては, 得られる結果 (土質判別, **Fc**) が異なる場合がある.
- ・各種簡易サンプリングの方法 (部分サンプリング, 連続サンプリング) の精度について調べる必要がある.
- ・自動 SWS 試験装置については, メーカーによって, 自沈時の荷重の取扱が異なるため, 試験結果に差異が生じる.
- ・スクリーポイントの摩耗も試験結果に大きく影響する.

2, 平成 25 年度の W2 の方針について議論を行った.

- ・自動機, 半自動機, 手動, スクリューポイントの摩耗具合を含む SWS の試験精度について調査する必要がある. 特に自動 SWS 試験機は, メーカーによって自沈時の荷重データの取扱が異なるため今後調査を行う.
- ・サンプリングについては, 各種簡易サンプリング手法を調査し, それぞれの手法による精度によって適応範囲 (土質分類のみ, **Fc** など) を調べる.
- ・地下水位測定は, 地域, 土質によって, 地下水位の時間変動や季節変動が異なるため, 現在提案されている地下水位測定方法の特徴や適応範囲について調査する.
- ・液状化判定は, 現在, 建築分野で議論されている宅地の液状化判定方法の動向を見据え今後, 検討する.

3. その他

- ・次回のワーキング開催日は, 以下の通りとする.

平成 25 年 10 月 8 日 (火) 13 時~15 時

場所: 地盤工学会会議室